

令和8年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験 専門科目
教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 造形芸術教育学領域

出題の意図等

造形芸術教育学領域では、学校教育の教育内容や教育方法に関する基本的な専門的知識・技能を共通の基盤としつつ、自身の研究課題に取り組むための専門的知識・技能を有する人材を求めている。それぞれの問題における出題の意図等は、下のとおりである。

なお、本科目の問題は、一義的な解答が示せない記述式の問題に該当する。解答の多様性や独自性は大学院入学試験における重要な評価ポイントであるため、解答又は解答例の記載は省略する。

問題Ⅰ～Ⅲ 造形芸術教育学

造形芸術教育学に関する様々な事項について論じることを求める問題である。

(解答のポイント) 出題された項目についての知識を有しているか、自身の研究関心に基づいて適切に論じているか、中学校における美術教育の特徴を踏まえて適切に説明しているか、具体的な教育・学習場面をイメージできているか、美術と生活や社会の関わりについて自らの考えを適切に表現しているかを評価する。さらに、論理的に矛盾なく構成された解答であることが重要である。